

みつばち保育所便り

2013 年 11 月 30 日サンタテクラ広場で、Fundipuro (現地カウンターパート) が企画した合唱コンクールが開催されました。みつばち合唱団も「Fum, fum, fum」のお披露目です。最後に子どもたちへプレゼントが渡されました。



写真左: コンクールのポスター



写真右: 審査員たち

チャリティー歌謡祭開催 サンタテクラ市から(エルサルバドル)



写真上: 「Fum, fum, fum」を歌うみつばち保育所の子どもたち

写真展—フクシマの涙は私たちの涙—in イタリア



at ポンテ・ディレーニョ

2013 年 8 月 3-6 日、ポンテ・ディレーニョ(北イタリア トレンティーノ州)で開かれたトナーレスターテ国際平和と文化フォーラムで写真展「フクシマの涙は私たちの涙」(写真提供: 井上めぐみさん)を行いました。

ヨーロッパは、1986 年 4 月 26 日、ソビエト連邦(現: ウクライナ)のチェルノブイリ原子力発電所事故を経験し、フクシマへの関心が高い地域です。説明を注意深く読み、日本人スタッフに質問する来場者の姿も多く見られました。

(トナーレスターテ参加者) 徳平陽子

ポンテ・ディレーニョ & アグロポリ

at アグロポリ

2013 年 10 月 22-25 日、「フクシマの涙は私たちの涙」と題してアグロポリ市立中学校(南イタリアカンパーニャ州)にて写真展を開催しました。原発事故から約二年経過した福島の実状を紹介するためです。

原子力放射線問題について語る時、国境は存在せず地球単位で議論され、とりわけ若者の間で問題意識をもつテーマとして扱われるべきです。展覧会を訪れた学生たちは原子力放射線問題について大変興味を持った様子でした。壊滅的な状況後の市民生活の実状、今日も継続している除染作業、原子力放射線による環境破壊や健康被害などについて多くの質問がありました。しかし実際社会はこのような重大な課題を人類における根本的な問題として取り上げず、利益や財政ばかりが優先され、人々の関心をそらすように日々私たちに偽りの情報を流し続けるばかりです。

今回選んだポスターの画にあるように、ある女性が廃墟と究極的悲嘆の中で涙とともに祈る姿は神秘と未来への期待のしるしであるかのようです。私たちはまず他者に関心を持つことから平和への歩みを試み続けたいと思います。

(アグロポリ現地スタッフ) 美代子・デ・マルコ



アグロポリでの写真展のポスター



育所の子どもたち

No man is an Island who has friends

クリスマスチャリティーバザー

12月14・15日



フィリピン被災地の様子

2013年11月10日に発生した台風によって被害を受けたフィリピン・レイテ島の方々への支援と、エルサルバドルのみつばち保育所の教育支援のためのクリスマスチャリティーバザーを行いました。

バザーの収益金は Josefa Segovia Foundation を通してフィリピンに送られました。ご来場くださった皆さま、物品提供してくださった皆さま、協力者の皆さまに感謝申し上げます。
(オリーブスタッフ) 吉田 有希



12月23日 ヴェネツィア特別料理講座



講師リッツアルディーニ先生と参加者

オリーブジャパンの協力者であるロベルト・リッツアルディーニさんによるヴェネツィア料理講座を行いました。

今回のメニューはホタテのタリアテッレ、イカのポレンタ添え、ニンジンのサラダとレモンシャーベットです。バターやアルコールをたっぷり使った、寒い季節にピッタリの郷土料理が披露されました。

綺麗に盛りつけられた料理を囲みながら、ロベルトさんが話してくださるイタリアの文化や今回使った食材の知識など興味深いお話を聞くことができました。

(オリーブスタッフ) 竹中 優華



11月23日・文化講演会

弁護士という仕事

ちょうにち

—朝日の架け橋として— 「相互理解と共生」

ペ・ミョンオク弁護士は在日朝鮮人差別の問題や、民族学校・外国人学校に通う子供たちの学習の権利擁護に取り組んでいます。在日三世であり、大学まで朝鮮学校で過ごしたペ氏自身の経験を通して、日本での在日外国人差別の現状をお話いただきました。

朝鮮学校は、日本の文科省が特殊学校と位置付けているため、高校無償化の対象になっていないばかりか、高等学校卒業資格が得られません。2003年8月になりようやく、文科省は外国人学校卒業生に対して大学受験資格を認めるという方針を明らかにしました。しかし、それに沿うかどうかは大学側の判断に委ねられています。「朝鮮学校では皆が助け合い、差別や孤立感がありません。しかし、卒業後の来るべき差別にどう向き合うかは共通の心配事でした」とペ氏は学生時代を振り返ります。

在日朝鮮の方たちは日朝どちらの参政権も与えられず(韓国は2012年4月から在外韓国人に参政権を認めた)、また一般企業に就職しても、「差別を受けないように」という名目で会社から通名を勧められることも少なくないそうです。在日外国人をめぐる制約は、同調意識と多様性を許容しない日本社会から生まれたものであるということから、ペ氏自身は、出自を隠さずに生きていくために通名は持たないのだといいます。

近年「ヘイトスピーチ」と呼ばれる暴力的なデモが広まっています。この風潮について「日本全体に容認されているとは思いませんが、そのような暴力的な活動ができてしまう社会は怖い方向に進んでいる」と危惧されていました。

朝鮮学校の在り方は日本と北朝鮮との政治関係に大きく左右されます。「政治による分裂や無理解が起こす不利益を教育に持ち込むべきではありません。子どもたちをその生贄にしてはいけません。誰もが祖国の歴史を学ぶ権利をもっています。多くの朝鮮人が、自分を知り日本との良い関係の構築を望んでいます。人は国を代弁して生きているわけではないので、日本と仲が良い国かどうかということではなく、個人として一人一人対等に見てほしい」とペ氏は話されました。

講演を聞き、同世代の人たちが出自を隠し、不安を感じ苦しんでいることを知りました。偏見を持たず人と出会うこと、また歴史的な事実から目を逸らさず正しく物事を知り、判断していくことが差別をなくす一歩だと思いました。

(ONE WAY スタッフ) 宗雪桂子



弁護士 裴明玉(ペ・ミョンオク)氏
南山大学大学院法務研究科を卒業し、現在は北名古屋弁護士事務所に勤務されている。愛知県弁護士会では、子どもの権利特別委員会、国際特別委員会所属。高齢者・障害者総合支援センター(アイズ)支援弁護士。CAPNA(子どもの虐待防止ネットワーク)弁護団所属。



講演会場の様子

【料理教室】

2014 年 4 月 26 日 (土)

身近な材料で簡単で美味しい
南イタリアの家庭料理を作ります
初心者から料理好きまで大歓迎！

★詳細は下記連絡先まで



生徒作品

【絵画教室】

2014 年 3 月 22 日 (土)

場所：本山生協会館（地下鉄 本山駅下車）

アットホームな雰囲気の中で
季節の花や果物を自由に描いてみませんか？
それぞれの個性を生かす指導が受けられます

★詳細は下記連絡先まで

※各文化講座は事前のお申込みが必要です。お問い合わせは TEL080-4306-1057（山田）までご連絡ください。
お電話にてご準備していただくものもお伝えいたします。



エルサルバドルの子どもたちのための 春のチャリティーバザー開催！

日時：2014 年 3 月 15 日 (土) 13:00~18:00

16 日 (日) 10:00~16:00

場所：本山生協会館 2 階 ルーム 1（地下鉄東山線本山駅から徒歩 5 分）

収益金は全てみつばち保育所の教育支援金に使われます。

みつばち保育所の
子どもたちの
写真や作品を展示します



会員募集

オリーブジャパンの活動に賛同していた
だけの会員の方を随時募集しています。

- ・ 賛助会員（一ヶ月一口 10,000 円）
- ・ 正会員（一ヶ月一口 5,000 円）
- ・ 協力会員（一ヶ月一口 2,000 円）
- ・ 参加会員（一ヶ月一口 1,000 円）
- ・ 同調会員（一ヶ月一口 500 円）

郵便振込用紙に必要な事項と会員の種類、納入方法
（月払い／年一括）をご記入の上、会費を納入ください。

振替口座番号

00890-1-24582

会員の皆様には、会報「オリーブ・プレス」と講演会、
バザー等のご案内を優先的にさせていただきます。

*お問い合わせは、下記連絡先まで

オリーブプレス Vol.18 2014 年 2 月発行

オリーブジャパン国際開発協力協会 olivejapan80@hotmail.com 編責：オリーブプレス編集部